

令和5年12月 「はこでみ親の会」

「第24回はこでみ親の会」を開催しました。

今回の親の会では、「中学生の不登校」についてのご相談を頂きました。

不登校の中学生の子どもを持つ保護者様のお悩みとして、

- 自宅での YouTube やゲームの時間が長時間になっている。
- ゲーム環境のレベルを上げる意識ばかりが増え、「俺にはもうこれしかない」と言わんばかりに課金やパソコンのスペック向上などの要望を絶え間なくしてくる。
- 「新学期から中学校に行く」「フリースクールなら行ける」と言ったので、準備や契約などを行ったが、いざ期日がせまったり当日になったりと「やはり行けない」と言う。
- 「何で思い通りにならないの?」「僕が望んでるのに何故お母さんは僕を応援しないの?」と前に進まない原因は、お母さんのせいだと言ってくる。
- 母親以外の家族(父親や祖父母や親戚)は、子ども本人の望みを受け入れる前に生活態度や生活サイクル、一般的なすべき事をする姿勢が先だと考え、まず子ども自身の改善行動や反省を求める事。※母親(もちろん全てではないが、ほとんどの場合、母親が矢面に立っている)が家族と子どもの板挟みとなる。等が挙げられました。

この場合、子ども本人はもちろん、お母様やご家族の皆さん全員が、悩み、疲れ、不安を感じながら毎日を過ごしていらっしゃると思います。そんな状況では、どうしてもネガティブ思考となり、出来ていない事や足りていない事、このまま不登校が続くことで発生する将来の支障などに注目してしまいます。誰一人として余裕がありません。

そこで、親の会では状況を整理し、時間をかけて一つずつ前向きに進めていく方法を皆さんとお話ししながら見つけていきました。

② 中学校に行くことが大切。

② YouTube やゲームができる環境が悪い。

② 他の子は真面目にしているのだから、怠けている子どもが悪い。

② もう中学生なのだから甘えは許されない。

などの対応を焦って行ってしまうと現状は益々悪化していきます。

怠けて逃げて好きなことばかりしているように見える子ども本人が一番焦り気を使い悩んでいます。現状が周りの人に迷惑をかけていることも十分分かっています。

成長にタイムリミットはありません！

安心を手にして前向きに一歩進めるためには時間が必要です。不登校は子どもからの SOS です。決して怠けではありません。誰も悪くありません。

一見人生の躓きに見えますが、この躓きが今後子ども自身が自分の人生を自分の力で生きていく上での指標となり糧となります。

それには、躓きに対する周りの理解と協力が必要です。

子どものこれからの人生のために皆さんと一緒に協力して進めていきましょう！

